

決 議

日本の医療は危機的な状況に向かっている。

安倍首相は、総選挙後一転してTPP交渉参加を表明し、社会保障分野にも市場原理主義を積極的に導入しようとしている。一方、優先したはずの経済再生であるが、株価は下落に転じ、アベノミクスの限界を見極めたかのような混迷が始まっている。

このような状況であるからこそ、我々は社会保障の充実を強く求め、国民の健康を基盤とした、しっかりと地に足のついた国家を創るよう求めて行く必要がある。そして、いつでも、どこでも、だれでも保険証一枚で安心して医療を受けられる、世界に誇る国民皆保険制度を名実ともに守って行かなければならない。

我々医師は、国民の健康と安心を保障するため、左記の事項を強く要望する。

記

- 一、世界に誇る「国民皆保険制度」を断固として堅持せよ。
- 一、受診抑制につながる患者自己負担を大幅に軽減せよ。
- 一、医療に格差をもたらす市場原理主義政策に断固反対する。
- 一、医療の営利化につながるTPP交渉参加の撤回を強く求める。
- 一、医療機関の経営を危うくする控除対象外消費税を解消せよ。

右、決議する。

平成二十五年六月八日